

定期事業者検査時の安全管理の計画

(15/25)

項目		保安規定条文		要求モード		要求内容		関連設備		V解列 RCS降温		燃料取出		燃料蓄荷		起動試験		起動前弁点検		V並列			
										R/V開放		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		起動試験		起動試験		調整運転	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	6-2	5-2	5-1	5-1	5-2	4	5-1	4	3	
<p>主要工程</p> <p>キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ロー</p>																							
RCS 水位	第90条 (表90-11-1) 放射能物質の濃度低減	モード3, 4, 5および6	1個ならびに窒素ポンプ(代替制御用空気供給用)1セットまたは可搬式空圧圧縮機(代替制御用空気供給用)1セットが動作可能	<ul style="list-style-type: none"> 可搬式格納容器水素ガス試験圧縮装置1台 格納容器水素ガス試験冷却器1個 格納容器水素ガス試験水分分離器1個 窒素ポンプ(代替制御用空気供給用)10本(A系統5本、B系統5本) 可搬式空圧圧縮機(代替制御用空気供給用)2台(1セット2台(A系統1台、B系統1台)) 大容量ポンプ 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 																			
第90条 (表90-11-1) 放射能物質の濃度低減	モード3, 4, 5および6	モード3, 4, 5および6	<ul style="list-style-type: none"> アニュラス空圧系(1系統)が動作可能(ファン手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること) 代替空圧系(1系統)が動作可能なアニュラス空圧系に接続可能な窒素ポンプ(代替制御用空気供給用)1セットまたは可搬式空圧圧縮機(代替制御用空気供給用)1セットが動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> アニュラス空圧系(1系統)が動作可能(ファン手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること) 代替空圧系(1系統)が動作可能なアニュラス空圧系に接続可能な窒素ポンプ(代替制御用空気供給用)1セットまたは可搬式空圧圧縮機(代替制御用空気供給用)1セットが動作可能 																			
第90条 (表90-12-1) 海水から使用済燃料ピットへの注水	第90条 (表90-12-1) 海水から使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	使用済燃料ピット水位(AMV)2個(動作可能な当該設備が所要求を満たさない場合において、可搬式使用済燃料ピット水位の所要数が動作可能である場合、運転上の制限を満足してはみまない)	<ul style="list-style-type: none"> 送水車1台×2 軽油トラム缶 																			
第90条 (表90-12-2) 使用済燃料ピットへのスプレイ	第90条 (表90-12-2) 使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	使用済燃料ピット水位(AMV)2個(動作可能な当該設備が所要求を満たさない場合において、可搬式使用済燃料ピット水位の所要数が動作可能である場合、運転上の制限を満足してはみまない)	<ul style="list-style-type: none"> 送水車1台×2 スプレイヘッド4個 軽油トラム缶 																			
第90条 (表90-12-3) 使用済燃料ピットの監視	第90条 (表90-12-3) 使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	使用済燃料ピット水位(AMV)2個(動作可能な当該設備が所要求を満たさない場合において、可搬式使用済燃料ピット水位の所要数が動作可能である場合、運転上の制限を満足してはみまない)	<ul style="list-style-type: none"> 左記監視計装 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 重油タンク 																			

定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	主要工程														
					▽解列 RCS降温	R/V開放	燃料取出	燃料装置	起動試験	起動前弁点検	起動試験	調整運転							
	RCS 水位		キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全フロー 1次系ポンプ他点検 RCS漏えい検査		▽解列	RCS降温	R/V開放	燃料取出	燃料装置	起動試験	起動前弁点検	起動試験	調整運転						
			要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モ-ト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
第90条 (表90-12-4) 軽油ドラム缶による燃料 補給設備	モード3、4、5、6および使用 済燃料ピットに燃料体を貯蔵し ている期間	<ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ピット温度(AM)用2個 使用済燃料ピット監視カメラ(使用済燃料ピット監視カメラ冷却装 置を含む)2個(使用済燃料ピット監視カメラ冷却装 置は1個) 可搬式使用済燃料ピット水位2個 可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ2個 ・軽油ドラム缶による燃料補給設備:20214 1台以上(3号 炉および6号炉の合計)	<ul style="list-style-type: none"> タンクローリー 	<ul style="list-style-type: none"> × × × × × × × × × × × × × × × × × × 															
第90条 (表90-13-1) 大気への拡散抑制、航空 機燃料火災への泡消火	モード3、4、5、6および使用 済燃料ピットに燃料体を貯蔵し ている期間	<ul style="list-style-type: none"> 大容量ポンプおよび放水砲による放水系1系統(大容量ボ ンプ3台(予備機1台含む)、放水砲3台(予備機1台含む) および泡混合器1台)動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 大容量ポンプ(放水砲用)3 台 (2台接続で3号炉と4号炉両 方向時に放水できる容量、3 号炉及び4号炉合計所要 数) 放水砲3台(3号炉及び4号 炉合計所要数) 泡混合器1台(3号炉及び4 号炉合計所要数) 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	<ul style="list-style-type: none"> × × × × × × × × × × × × × × × × × × 															
第90条 (表90-13-2) 海洋への拡散抑制	モード3、4、5、6および使用 済燃料ピットに燃料体を貯蔵し ている期間	<ul style="list-style-type: none"> シルトフェンス:2組(3号炉及び4号炉合計所要数) 取水設備: 高さ約7m/幅約35m (幅約20m/本を1本、幅15m/本を1本として2組)) 高さ約7m/幅約10m (幅約10m/本を1本として2組)) 放水設備 高さ約12m/幅約5.4m (幅約5.4m/本を2本として2組) 高さ約12m/幅約5.8m (幅約5.8m/本を2本として2組)) ・海水を用いた放水ピットへの精給系2系統動作可能	<ul style="list-style-type: none"> シルトフェンス 	<ul style="list-style-type: none"> × × × × × × × × × × × × × × × × × × 															
第90条 (表90-14-1) 海水を用いた覆水ピット への補給	モード3、4、5および6	<ul style="list-style-type: none"> 海水を用いた覆水ピットへの補給 	<ul style="list-style-type: none"> 海水重1台×2 軽油ドラム缶 	<ul style="list-style-type: none"> × × × × × × × × × × × × × × × × × × 															
第90条 (表90-14-2) 燃料取替用海水ピット	モード3、4、5および6(キャビ ティ低水位)	<ul style="list-style-type: none"> ほう素濃度:2,800ppm以上であること ほう素水量(有効水量):1,860m³以上であること(原子炉 キャビティ水張り、水抜き期間においては第90条に定める 水源および炉心注入手段等が確保されていることを条件 に運転上の制限を満足していないとはみなさない。なお原 子炉キャビティ水張り期間とは、原子炉キャビティ水張り作 業開始から水張り完了までの期間を、また、原子炉キャビ ティ水抜き期間とは、原子炉キャビティ水抜き作業開始か ら燃料取替用海水ピット水位を回復するまでの期間をいう) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取替用海水ピット 	<ul style="list-style-type: none"> × × × × × × × × × × × × × × × × × × 															

定期事業者検査時の安全管理の計画

(17/25)

主要工程		▽解列 RCS降温										燃料取出			燃料装荷			起動試験			▽並列										
		R/V開放										1次系ポンプ他点検			R/V組立			RCS漏えい検査			調整運転										
RCS水位		キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS全ブロー																													
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	5-1	5-2	6-1	6-2	4	5-1	4	3	
第90条 (表90-14-3) 復水ピット(RWSP補給系を含む)	モード3、4、5および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 1,035m³以上であること 復水ピットから燃料取替用ピットへの補給系が使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 復水ピット 	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
第90条 (表90-15-1) 空冷式非常用発電装置からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置による電源系1系統(モード3、4、5および6)において空冷式非常用発電装置2台、使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間において空冷式非常用発電装置1台)動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置2台 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
第90条 (表90-15-2) 号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)(号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号))からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)による電源系1系統(他号炉がモード3および4)において号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)2基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)300m³および重油タンク(他号炉)320m³、タンクローリーが使用可能。 2基(他号炉がモード5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間)において号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)1基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)および重油タンク(他号炉)の合計油量297m³※)、タンクローリーが使用可能。 号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)による電源系1系統(他号炉モード3および4)において号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)1組、ディーゼル発電機(他号炉)2基、燃料油貯蔵タンク(他号炉)300m³および重油タンク(他号炉)320m³、タンクローリーが使用可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号)1組 号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)1組 ディーゼル発電機(他号炉)2基(他号炉がモード5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間)の合計油量は1基) 燃料油貯蔵タンク(他号炉)300m³ 重油タンク(他号炉)320m³ タンクローリー 	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
第90条 (表90-15-3) 電源車からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 電源車による電源系2系統動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 電源車1台x2 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
第90条 (表90-15-4) 蓄電池(安全防護系用)からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池(安全防護系用)による電源系1系統(蓄電池(安全防護系用)1組)動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池(安全防護系用)1組 	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
第90条 (表90-15-5) 可搬式整流器からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 可搬式整流器からの電源系1系統(可搬式整流器1個)動作可能 	<ul style="list-style-type: none"> 可搬式整流器1個 空冷式非常用発電装置 号機間電力融通恒設ケーブル(3号~4号) 号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号) ディーゼル発電機(他号炉) 	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

定期事業者検査時の安全管理の計画

(18/25)

主要工程		▽並列 RCS降温											▽並列				
RCS水位		燃料取出	R/V開放	燃料装荷	起動試験	起動前弁点検	起動試験	R/V組立	RCS漏えい検査	調整運転							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モ-ト外	5-1	4	5-1	4	3	
第90条 (表90-15-6) 代替所内電気設備からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> キャピタイ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク(他号炉) 重油タンク(他号炉) 電源車 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 													
			<ul style="list-style-type: none"> 代替所内電気設備からの給電系が使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 代替所内電気設備分電盤1個 代替所内電気設備変圧器1個 空冷式非常用発電装置 可搬式整流器 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 													
第90条 (表90-15-7) 燃料油貯蔵タンクまたは重油タンク、タンクローリーによる燃料補給設備	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンクの油量:300m³以上(2基分) 重油タンクの油量:320m³以上(2基分) タンクローリー:2台(重大事故等対処設備の連続定格運転に必要な燃料を補給できる容量を有するもの。3号炉および4号炉合計) 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 													
			<ul style="list-style-type: none"> プラント起動に伴う計器校正、真空ベンディングおよび原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、動作不能とはみなさない。 ※代替パラメータに記載する番号は優先順位であり、代替パラメータが複数あることを示す。 [] は多様性孤注設備を示し、運転上の制限は適用しない。 主要パラメータ 代替パラメータ※ 	<ul style="list-style-type: none"> 左記監視設備 													
第90条 (表90-16-1) 計装設備	モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の温度)	モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の温度)	<ul style="list-style-type: none"> (原子炉圧力容器内の温度) ①冷却材最高温度(広域)1CH ②冷却材最低温度(広域)1CH ③冷却材最高温度(広域)1CH ④冷却材最低温度(広域)1CH ⑤冷却材最高温度(広域)1CH ⑥冷却材最低温度(広域)1CH ⑦冷却材最高温度(広域)1CH ⑧冷却材最低温度(広域)1CH ⑨冷却材最高温度(広域)1CH ⑩冷却材最低温度(広域)1CH ⑪冷却材最高温度(広域)1CH ⑫冷却材最低温度(広域)1CH 	<ul style="list-style-type: none"> 左記監視設備 													
			<ul style="list-style-type: none"> (原子炉圧力容器内の圧力) ①冷却材圧力1CH ②加圧器圧力(CRT) ③加圧器水位1CH ④加圧器水位1CH ⑤原子炉水位1CH ⑥冷却材補給水位※ ⑦冷却材最低温度(広域)1CH※ ⑧冷却材最高温度(広域)1CH※ 	<ul style="list-style-type: none"> 左記監視設備 													
第90条 (表90-16-1) 計装設備	モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の水位)	モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の水位)	<ul style="list-style-type: none"> (原子炉圧力容器内の水位) ①加圧器水位1CH ②加圧器水位1CH ③原子炉水位1CH ④冷却材補給水位※ ⑤冷却材最低温度(広域)1CH※ ⑥冷却材最高温度(広域)1CH※ 	<ul style="list-style-type: none"> 左記監視設備 													
			<ul style="list-style-type: none"> (原子炉圧力容器内の圧力) ①冷却材圧力1CH ②加圧器圧力(CRT) ③加圧器水位1CH ④加圧器水位1CH ⑤原子炉水位1CH ⑥冷却材補給水位※ ⑦冷却材最低温度(広域)1CH※ ⑧冷却材最高温度(広域)1CH※ 	<ul style="list-style-type: none"> 左記監視設備 													

定期事業者検査時の安全管理の計画

(19/25)

主要工程		▽解列 RCS降温		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前弁点検		▽並列										
		R/V開放		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		起動試験		調整運転										
RCS水位	保安規定条文	キャビティ満水 RCS満水 ミッドレベル RCS全ブロー																				
		項目	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
RCS水位	モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器への注水量)	(原子炉圧力容器への注水量) ・高圧注水量1CH 余裕注水量1CH ・恒設圧縮機注水積算流量1CH	① 主要/ラマーの健全性1CH ② 燃料取留用水圧外水位1CH ③ 加圧器水位1CH ④ 原子炉水位1CH ⑤ 燃料容器管理用ポンプ水位(広域)1CH ⑥ 燃料容器管理用ポンプ水位1CH ⑦ 主要/ラマーの健全性1CH ⑧ 燃料取留用水圧外水位1CH ⑨ 加圧器水位1CH ⑩ 原子炉水位1CH ⑪ 燃料容器管理用ポンプ水位(広域)1CH ⑫ 燃料取留用水圧外水位1CH	・左記監視設備	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
			・充てり水流量 ・直圧シクシク力 ・冷却材圧力 ・高圧シクシク力 ・(AM)用消火水量積算量	① 燃料取留用水圧外水位1CH ② 加圧器水位1CH ③ 原子炉水位1CH ④ 燃料容器管理用ポンプ水位(広域)1CH ⑤ 燃料取留用水圧外水位1CH ⑥ 燃料容器管理用ポンプ水位1CH ⑦ 加圧器水位1CH ⑧ 原子炉水位1CH ⑨ 燃料容器管理用ポンプ水位(広域)1CH ⑩ 燃料取留用水圧外水位1CH ⑪ 冷却材圧力1CH ⑫ 冷却材低温度感温(広域)1CH ⑬ 冷却材圧力1CH ⑭ 加圧器水位1CH ⑮ 原子炉水位1CH	・左記監視設備	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
			(原子炉格納容器への注水量) ・格納容器入アレイ積算流量1CH ・恒設圧縮機注水積算流量1CH ・高圧注水量1CH ・余裕注水量1CH ・(格納容器入アレイ)流量 ・(AM)用消火水量積算量	① 燃料取留用水圧外水位1CH ② 加圧器水位1CH ③ 原子炉水位1CH ④ 燃料容器管理用ポンプ水位(広域)1CH ⑤ 燃料取留用水圧外水位1CH ⑥ 燃料容器管理用ポンプ水位1CH ⑦ 主要/ラマーの健全性1CH ⑧ 燃料取留用水圧外水位1CH ⑨ 燃料容器管理用ポンプ水位(広域)1CH ⑩ 燃料取留用水圧外水位1CH ⑪ 燃料容器管理用ポンプ水位1CH ⑫ 加圧器水位1CH ⑬ 原子炉水位1CH ⑭ 燃料容器管理用ポンプ水位(広域)1CH ⑮ 燃料取留用水圧外水位1CH	・左記監視設備	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
RCS水位	モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の温度)	(原子炉格納容器内の温度) ・格納容器内温度1CH	① 主要/ラマーの健全性1CH ② 燃料取留用水圧外水位1CH ③ AM用格納容器圧力1CH	・左記監視設備	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
			(原子炉格納容器内の温度) ・格納容器内温度1CH	① 主要/ラマーの健全性1CH ② 燃料取留用水圧外水位1CH ③ AM用格納容器圧力1CH	・左記監視設備	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	主要工程														
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
RCS 水位					△解列 RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 燃料系ポンプ他点検 R/V組立 RCS漏えい検査 △並列 RCS降温 起動試験 起動前弁点検 起動試験 調整運転														
キャビタイ満水																			
RCS 満水																			
ミッドループ																			
RCS 全ブロー																			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の圧力)	(原子炉格納容器内の圧力) ・格納容器圧力(領域)1CH ・AM用格納容器圧力1CH ・原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環アップ水位(領域)1CH	(原子炉格納容器内の圧力) ① 主要パラメータのモニタリングCH ② 燃料容器炉心温度1CH ③ 燃料容器炉心温度2CH ④ 原子炉格納容器圧力CH ⑤ 原子炉格納容器水位1CH ⑥ 原子炉格納容器水位2CH ⑦ 燃料取り留め用ベント水位1CH ⑧ 燃料取り留め用ベント水位2CH ⑨ 原子炉格納容器再循環アップ水位(領域)1CH ⑩ 燃料容器炉心温度1CH ⑪ 燃料容器炉心温度2CH ⑫ 原子炉格納容器圧力CH ⑬ AM用格納容器圧力CH ⑭ 原子炉格納容器内の水位 ⑮ 格納容器再循環アップ水位(領域)1CH ⑯ 原子炉格納容器再循環アップ水位(領域)1CH	・左記監視設備 ・左記監視設備	× × × × × × × × × × × × × × ×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の圧力)	(原子炉格納容器内の圧力) ・格納容器圧力(領域)1CH ・燃料取り留め用ベント水位1CH ・燃料取り留め用ベント水位2CH ・原子炉格納容器再循環アップ水位(領域)1CH ・燃料容器炉心温度1CH ・燃料容器炉心温度2CH ・原子炉格納容器圧力CH ・AM用格納容器圧力CH ・原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環アップ水位(領域)1CH	(原子炉格納容器内の圧力) ① 主要パラメータのモニタリングCH ② 燃料容器炉心温度1CH ③ 燃料容器炉心温度2CH ④ 原子炉格納容器圧力CH ⑤ AM用格納容器圧力CH ⑥ 原子炉格納容器内の水位 ⑦ 格納容器再循環アップ水位(領域)1CH ⑧ 燃料容器炉心温度1CH ⑨ 燃料容器炉心温度2CH ⑩ 原子炉格納容器圧力CH ⑪ 燃料容器炉心温度1CH ⑫ 燃料容器炉心温度2CH ⑬ 原子炉格納容器圧力CH ⑭ AM用格納容器圧力CH ⑮ 原子炉格納容器内の水位 ⑯ 格納容器再循環アップ水位(領域)1CH	・左記監視設備 ・左記監視設備	× × × × × × × × × × × × × × × ×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の圧力)	(原子炉格納容器内の圧力) ・格納容器圧力(領域)1CH ・燃料取り留め用ベント水位1CH ・燃料取り留め用ベント水位2CH ・原子炉格納容器再循環アップ水位(領域)1CH ・燃料容器炉心温度1CH ・燃料容器炉心温度2CH ・原子炉格納容器圧力CH ・AM用格納容器圧力CH ・原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環アップ水位(領域)1CH	(原子炉格納容器内の圧力) ① 主要パラメータのモニタリングCH ② 燃料容器炉心温度1CH ③ 燃料容器炉心温度2CH ④ 原子炉格納容器圧力CH ⑤ AM用格納容器圧力CH ⑥ 原子炉格納容器内の水位 ⑦ 格納容器再循環アップ水位(領域)1CH ⑧ 燃料容器炉心温度1CH ⑨ 燃料容器炉心温度2CH ⑩ 原子炉格納容器圧力CH ⑪ 燃料容器炉心温度1CH ⑫ 燃料容器炉心温度2CH ⑬ 原子炉格納容器圧力CH ⑭ AM用格納容器圧力CH ⑮ 原子炉格納容器内の水位 ⑯ 格納容器再循環アップ水位(領域)1CH	・左記監視設備 ・左記監視設備	× × × × × × × × × × × × × × × ×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
モード3、4、5および6 (未認識の維持または監視)	(未認識の維持または監視) ・中間領域中性子率1CH ・中性子源領域中性子率1CH ・燃料ヒートアップの検出 ・格納容器圧力(領域)1CH	(未認識の維持または監視) ① 中間領域中性子率1CH ② 中性子源領域中性子率1CH ③ 燃料ヒートアップの検出 ④ 格納容器圧力(領域)1CH	・左記監視設備	× × × ×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
モード3、4、5および6 (最終ヒートアップの確保)	(最終ヒートアップの確保) ・格納容器圧力(領域)1CH	(最終ヒートアップの確保) ① 格納容器圧力(領域)1CH	・左記監視設備	× ×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

定期事業者検査時の安全管理の計画

(21/25)

主要工程		▽解列 RCS降温		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前弁点検		▽並列							
		R/V開放		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		起動試験		調整運転							
RCS 水位	要求モード	保安規定条文	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	4	5-1	4	3			
		<p>キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ブロー</p>	<p>①AM用格納容器圧力ICH ②格納容器外温度 ICH ③主要パラメータの電子パネルICH ④可燃型温度計測装置（格納容器側） ユニット入口温度（SA）用 ICH H ⑤原子炉補給冷却水サージタンク圧力 ICH ⑥格納容器外温度（CH） ⑦格納容器圧力（伝感） ICH ⑧格納容器外温度 ICH ⑨主要パラメータの予備 ICH ⑩格納容器外温度 ICH H ⑪格納容器圧力（伝感） ICH ⑫主要パラメータの電子パネルまたはヒューズ ICH ⑬1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ⑭1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ⑮主要パラメータの電子パネル ICH ⑯蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑰1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ⑱1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ⑲蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑳1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉑1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉒1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉓1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉔1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉕1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉖1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉗1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉘1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉙1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉚1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉛1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉜1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉝1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉞1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉟1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊱1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊲1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊳1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊴1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊵1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊶1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊷1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊸1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊹1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊺1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊻1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊼1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊽1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊾1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊿1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊿1次冷却材高温側温度（伝感） ICH</p>	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3	
	モード3、4、5および6 （格納容器バイパスの監視）	<p>（格納器）バイパスの監視） 蒸気発生器水位（伝感） ICH 主蒸気圧力 ICH ④蒸気発生器補給水流量 ICH ⑤蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑥蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑦蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑧蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑨蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑩蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑪蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑫蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑬蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑭蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑮蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑯蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑰蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑱蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑲蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑳蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉑蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉒蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉓蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉔蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉕蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉖蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉗蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉘蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉙蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉚蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉛蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉜蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉝蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉞蒸気発生器水位（伝感） ICH ㉟蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊱蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊲蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊳蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊴蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊵蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊶蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊷蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊸蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊹蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊺蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊻蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊼蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊽蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊾蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊿蒸気発生器水位（伝感） ICH ㊿蒸気発生器水位（伝感） ICH</p>	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	4	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3
		<p>①AM用格納容器圧力ICH ②格納容器外温度 ICH ③主要パラメータの電子パネルICH ④可燃型温度計測装置（格納容器側） ユニット入口温度（SA）用 ICH H ⑤原子炉補給冷却水サージタンク圧力 ICH ⑥格納容器外温度（CH） ⑦格納容器圧力（伝感） ICH ⑧格納容器外温度 ICH ⑨主要パラメータの予備 ICH ⑩格納容器外温度 ICH H ⑪格納容器圧力（伝感） ICH ⑫主要パラメータの電子パネルまたはヒューズ ICH ⑬1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ⑭1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ⑮主要パラメータの電子パネル ICH ⑯蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑰1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ⑱1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ⑲蒸気発生器水位（伝感） ICH ⑳1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉑1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉒1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉓1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉔1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉕1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉖1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉗1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉘1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉙1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉚1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉛1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉜1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉝1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㉞1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㉟1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊱1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊲1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊳1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊴1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊵1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊶1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊷1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊸1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊹1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊺1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊻1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊼1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊽1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊾1次冷却材高温側温度（伝感） ICH ㊿1次冷却材低温側温度（伝感） ICH ㊿1次冷却材高温側温度（伝感） ICH</p>	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	4	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3

定期事業者検査時の安全管理の計画

(23/25)

主要工程		▽解列 RCS降温										燃料取出			燃料装荷			起動試験			▽並列											
		R/V開放										1次系ポンプ他点検			R/V組立			RCS漏えい検査			起動前弁点検			起動試験			調整運転					
RCS水位		キャビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全ブロー																														
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-1	4	5-1	4	3			
第90条 (表90-16-3) 記録	中央制御室	モード3、4、5および6	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度(SA)用:3個 安全パラメータ表示システム(SPDS):1系列(3号炉および4号炉の合計) SPDS表示装置:2台(3号炉および4号炉の合計) 	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度(SA)用:3個 安全パラメータ表示システム(SPDS):1系列(3号炉および4号炉の合計) SPDS表示装置 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
第90条 (表90-17-1) 中央制御室	中央制御室	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室あたり中央制御室非常用循環系1系統以上動作可能(ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中) 可搬型照明(SA)、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数で使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室非常用循環ファン1台 中央制御室空調ファン1台 中央制御室循環ファン1台 中央制御室非常用循環ファン1台 可搬型照明(SA)8個(3号炉および4号炉の合計所要数) 酸素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 二酸化炭素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 空冷式非常用発電装置 燃料油貯蔵タンク 重油タンク タンクローリー 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
第90条 (表90-18-1) 監視測定装置	監視測定装置	モード3、4、5および6	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室あたり中央制御室非常用循環系1系統以上動作可能(ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中) 可搬型照明(SA)、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数で使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> アニュラス空気浄化ファン アニュラス空気浄化フィルタ ユニット 窒素ポンプ(代替制御用空気供給用) 可搬式変圧縮機(代替制御用空気供給用) 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
第90条 (表90-18-1) 監視測定装置	監視測定装置	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> [放射性物質の濃度および放射線量の測定] 可搬式モニタリングポスト:10個(3号炉および4号炉の合計所要数) 電離箱サーベイメータ:2個(3号炉および4号炉の合計所要数) (可搬型放射線計測装置) 可搬式ダストサンブラ:2個(3号炉および4号炉の合計所要数) 汚染サーベイメータ:2個(3号炉および4号炉の合計所要数) NaIシンチレーションサーベイメータ:2個(3号炉および4号炉の合計所要数) ZnSシンチレーションサーベイメータ:2個(3号炉および4号炉の合計所要数) 小型船舶 	<ul style="list-style-type: none"> [放射性物質の濃度および放射線量の測定] 可搬式モニタリングポスト 電離箱サーベイメータ 可搬式ダストサンブラ 汚染サーベイメータ NaIシンチレーションサーベイメータ ZnSシンチレーションサーベイメータ 小型船舶 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

定期事業者検査時の安全管理の計画

(24/25)

主要工程		▽解列 RCS降温												▽並列		
		R/V開放		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前弁点検		起動試験		調整運転		
		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査										
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	4	5-1	4	3
RCS 水位	第90条 (表90-19-1) 緊急時対策所 代替電源設備からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> ZnSシンチレーションサーベイメータ: 1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 線サーベイメータ: 1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 小型船舶: 1台(3号炉および4号炉の合計所要数) [風向、風速その他の気象条件の測定] 可搬式気象観測装置: 1個(3号炉および4号炉の合計所要数) 電源車(緊急時対策所用): 2台(動作可能) 	<ul style="list-style-type: none"> 風向、風速その他の気象条件の測定 可搬式気象観測装置 												
			<ul style="list-style-type: none"> 電源車(緊急時対策所用): 2台(動作可能) 													
第90条 (表90-19-2) 緊急時対策所 居住性の確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所空気浄化系・系統(緊急時対策所非常用空気浄化ファン1台および緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット1基)動作可能 空気供給装置の所要数(720本: 緊急時対策所あたりの合計)が使用可能 酸素濃度計(1個)(緊急時対策所あたりの合計)および二酸化炭素濃度計(1個)(緊急時対策所あたりの合計)の所要数が動作可能 緊急時対策所内可搬型エリアモニタ(1個)(緊急時対策所外可搬型エリアモニタ(1個)の所要数が動作可能) 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所非常用空気浄化ファン 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット 空気供給装置 酸素濃度計 二酸化炭素濃度計 緊急時対策所内可搬型エリアモニタ 緊急時対策所外可搬型エリアモニタ 													
第90条 (表90-20-1) 通信連絡	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 衛星電話(固定): 6台(3号炉および4号炉の合計所要数) 衛星電話(携帯): 9台(3号炉および4号炉の合計所要数) 衛星電話(可搬): 1台(3号炉および4号炉の合計所要数) トランシーバー: 29台(3号炉および4号炉の合計所要数) 携行型通話装置: 22台(3号炉および4号炉の合計所要数) 	<ul style="list-style-type: none"> 衛星電話(固定) 衛星電話(携帯) 衛星電話(可搬) トランシーバー 携行型通話装置 安全ハラメータ表示システム(SFDS) 安全ハラメータ伝送システム 													

定期事業者検査時の安全管理の計画

(25/25)

主要工程		△解列 RCS降温											▽並列		
		R/V開放		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前弁点検		起動試験		調整運転	
RCS水位		1次系ポンプ他点検											RCS漏えい検査		
		キャビティ満水													
		RCS満水													
		ミッドループ													
		RCS全ブロー													
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	4	5-1	4	3
第90条 (表90-21-1) アクセルートの確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ヒットに燃料体を貯蔵している期間	安全パラメータ表示システム(SPDS:1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれかにより有線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※1 安全パラメータ伝送システム:1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、A系またはB系のいずれかにより有線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※1 *SPDS表示装置:2台(3号炉および4号炉の合計所要数)※1 (※1サバーブ替等による一時的なデータ伝送停止は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。また、所要の権限対象パラメータを記録し、連絡する要員を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時(他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴うデータ伝送停止を含む。)は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) *緊急時衛星通報システム:1台(3号炉および4号炉の合計所要数) *統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備(TV会議システム、IP電話、IP-FAX)1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、TV会議システム、IP電話、IP-FAXのいずれかにより通信可能であること)(衛星携帯電話設備等の通信機器による通信手段を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時(他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴うデータ伝送停止を含む。))は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) *空冷式非常用発電装置 *燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー *電源車(緊急時対策所用)	<ul style="list-style-type: none"> *SPDS表示装置 *緊急時衛星通報システム *統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備(TV会議システム、IP電話、IP-FAX) *空冷式非常用発電装置 *燃料油貯蔵タンク *重油タンク *タンクローリー *電源車(緊急時対策所用) 	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

×	機能要求あり
△	機能要求あり(条件付)
	機能要求なし

モード	原子炉の運転状態	原子炉容器スタッドボルトの状態
3	1次冷却材温度 177℃以上	全ボルト締付
4	1次冷却材温度 93℃超 177℃未満	全ボルト締付
5-1	1次冷却材温度 93℃以下(RCS 満水)	全ボルト締付
5-2	1次冷却材温度 93℃以下(RCS 非満水)	全ボルト締付
6-1	1次冷却材温度 93℃以下(キャビティ 低水位)	1本以上が締められている
6-2	1次冷却材温度 93℃以下(キャビティ 高水位)	1本以上が締められている(全ボルト取り外し)
モード外	全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態	—

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際には、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。